

# 第 24 回日本環境毒性学会研究発表会 プログラム

2018 年 9 月 11 日（火曜日）、12 日（水曜日）

岐阜大学サテライトキャンパス

〒500-8844 岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階

参加費：一般会員 5,000 円 非会員 7,000 円 学生 2,000 円（要旨集代を含む）  
懇親会費：一般会員および非会員 5,000 円 学生 3,000 円  
要旨集のみ 1,000 円

大会委員長 岩橋 均（岐阜大学応用生物科学部 教授）

2018 年 9 月 11 日（火曜日）

9:15 — 受付開始  
9:45 — 10:00 開会の挨拶：多目的講義室大  
10:00 — 11:40 一般講演発表：多目的講義室大  
12:00 — 13:00 日本環境毒性学会幹事会  
13:00 — 13:30 ポスターセッション多目的講義室中  
13:30 — 15:30 奨励賞応募講演発表多目的講義室大  
15:30 — 17:30 ポスターセッション多目的講義室中  
18:00 — 20:00 懇親会および奨励賞授賞式（ラ・ローゼ プロヴァンス）

2018 年 9 月 12 日（水曜日）

9:00 — 9:20 一般講演発表：多目的講義室大  
9:25 — 11:30 企画シンポジウム「水銀に関する水俣条約」  
12:00 — 13:00 日本環境毒性学会総会（ポスター賞・CERI 賞授賞式）  
13:00 — 16:30 一般講演発表：多目的講義室大

口頭発表者の方へ

1. ご発表のファイルは、各自で、開会前または休憩中に会場（多目的講義室大）の PC にインストールして頂き、動作確認をお願いします。
2. ファイル名は演題番号と苗字にしてください。
3. ファイルは USB メモリーでお持ちください。
4. Macintosh をご使用の方はご自分で PC をご用意ください。
5. 操作は、発表者ご自身でお願い致します。
6. 発表者は必ず下記時間内で終了するようにお願いいたします。

口頭発表時間は、20 分感（発表 15 分 質疑応答 5 分）です。

一鈴・・・・・・・・・・13 分  
二鈴・・・・・・・・・・15 分  
三鈴・・・・・・・・・・20 分

ポスター発表の方へ

1. ポスターは A0 サイズ（縦）で作成ください。
2. ポスターは、初日（9 月 11 日）の昼食休憩時間までに掲示してください。撤去は、2 日目（9 月 12 日）の午後 5 時まででお願いします。
3. ポスター発表者は、ポスターセッション中は必ず自分のポスター前で待機するようにしてください。

## プログラム

9月11日（火曜日）多目的講義室大

9:45 — 10:00 開会の挨拶（学会長）

### 一般講演発表

座長：岩橋均（岐阜大学）

#### 1A-1

10:00—10:20 環境中の浮遊粒子に含まれる生物情報に関する研究 メタゲノム解析による生物種の同定

○高橋淳子（産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門），  
遠藤優輝，魯文浩，岩橋均（岐阜大学 応用生物科学部）

#### 1A-2

10:20—10:40 道路塵埃に曝露したニホンドロソコエビの網羅的な遺伝子発現解析

○日置恭史郎（国立環境研究所），中島典之，飛野智宏（東京大学），  
渡部春奈，山本裕史（国立環境研究所）

座長：高橋淳子（産業技術総合研究所）

#### 1A-3

10:40—11:00 Ni 汚染河川のミジンコ繁殖影響評価と Biotic Ligand Model による予測

○渡部春奈（国立環境研究所），野口愛（国立環境研究所，茨城大学），  
三崎貴弘，小田重人，松崎加奈恵，山本裕史（国立環境研究所）

#### 1A-4

11:00—11:20 幾つかの方法論による PNEC 導出の性能比較

加茂将史（産総研・安全科学研究部門）

#### 1A-5

11:20—11:40 第2回生態影響試験チャレンジテストの結果概要

○山本裕史，阿部良子，渡部春奈，大曲遼，山岸隆博（国立環境研究所），  
鑪迫典久（愛媛大学）

12:00—13:00 日本環境毒性学会幹事会（多目的講義室大）

### ポスターセッション

13:00—13:30 ポスターセッション多目的講義室中

### 奨励賞応募講演発表

座長：加茂将史，藤田克英（産業技術総合研究所）

#### 1P-1

13:30—13:50 ニッケルが河川の底生動物群集に与える影響の評価

○竹下和貴（国立環境研究所），三崎貴弘（国立環境研究所，（株）建設  
環境研究所），林岳彦，横溝裕行（国立環境研究所）

#### 1P-2

13:50—14:10 オオミジンコとヨコエビを用いた多環芳香族炭化水素類の底質毒性評価

谷和音（東京大学大学院），渡部春奈（国立環境研究所），野口愛（茨城大  
学），鑪迫典久（愛媛大学），山本裕史（東京大学，国立環境研究所）

1P-3

14 : 10-14 : 30 環境汚染物質とヒト疾患の関連性評価  
○飯田緑, 竹本和広 (九州工業大学・大学院情報工学研究院)

1P-4

14 : 30-14 : 50 ネオニコチノイド系農薬のメダカの初期発生に対する影響の評価  
○井上傑士, 坂口ももか, 山口明美, 内田雅也, 富永伸明 (有明工業高専) 高橋圭介, 加藤恵介 (東邦大), 有菌幸司 (熊本県立大)

1P-5

14 : 50-15 : 10 ウニの受精・初期発生に対する船底塗装由来粒子の影響  
○加納研多 (神戸大学大学院海事科学研究科), 浅岡聡, 岡村秀雄 (神戸大学内海域環境教育研究センター)

1P-6

15 : 10-15 : 30 香料内包マイクロカプセルがメダカ仔魚へ及ぼす影響  
○三澤和文, 岡崎友紀代, 鑓迫典久 (愛媛大学大学院・農学研究科)

ポスターセッション

15 : 30-17 : 30 ポスターセッション多目的講義室中

18 : 00-20 : 00 懇親会および奨励賞授賞式 (ラ・ローゼ プロヴァンス)

## プログラム

9月12日（水曜日）多目的講義室大

### 一般講演発表

座長：岩橋均（岐阜大学）

#### 2A-1

9：00－9：20 野外調査データから読み解く生態リスク：室内試験データを捨てずに現場出よう  
岩崎雄一（（国研）産業技術総合研究所 安全科学研究部門）

9：20－9：25 休憩

### 企画シンポジウム「水銀に関する水俣条約」

9：25－9：30 趣旨説明

9：30－10：10 健康と微量元素：その基礎知識  
順天堂大学医学部衛生学講座（客員教授）

10：10－10：50 世界の水銀汚染の現状と水俣  
（有）国際水銀ラボ（元・環境省国立水俣病総合研究センター）

10：50－11：30 水銀に関する水俣条約の経緯と現状  
岐阜大学 名誉教授／特任教授（守富環境工学総合研究所）

12：00－13：00 日本環境毒性学会総会（ポスター賞・CERI 賞授賞式）（多目的講義室大）

### 一般講演発表

座長：富永伸明（有明工業高専）

#### 2P-1

13：00－13：20 病原体に対する感受性の変化をエンドポイントとした免疫毒性の評価～最近の動向～  
○仲山慶，北村真一（愛媛大学・沿岸環境科学研究センター）

#### 2P-2

13：20－13：40 oxyPAHs 暴露期間および開始期の違いによる影響発現の相違  
○河野真知（国立環境研究所・鹿児島大学大学院連合農学研究科），  
宇野誠一，國師恵美子，小山次朗（鹿児島大学・水産学部）

#### 2P-3

13：40－14：00 ジャワメダカ胚を用いた底質中酸素化多環芳香族炭化水素類の影響評価  
○宇野誠一，安樂和彦，中村周太郎，國師恵美子（鹿児島大学水産学部），河野真知（鹿児島大学大学院連合農学研究科）

14：00－14：10 休憩

座長：仲山 慶（愛媛大学）

2P-4

14：10－14：30 ユスリカ 1 齢幼虫のふ化後経過時間による薬剤感受性の比較  
○木村穰，石原悟（（独）農林水産消費安全技術センター 農薬検査部），  
久樂喬，関雅範（（一財）化学物質評価研究機構 久留米事業所）

2P-5

14：30－14：50 ピラクロニルの底生生物に対する影響評価 底質添加（TG218）及び水添加（TG219）による水-底質系ユスリカ毒性試験の比較  
○久樂喬，松浦武，安藤浩美，関雅範（一般財団法人化学物質評価研究機構）

2P-6

14：50－15：10 アキアカネ類幼生に対する稲箱施用殺虫剤の影響評価  
ーフィプロニル、イミダクロプリド、MEP（フェニトロチオン）及び硫酸銅  
に対する感受性の温度による差ー  
○大津和久（国立研究開発法人農研機構農業環境変動研究センター）

15：10－15：30 休憩

座長：宇野 誠一（鹿児島大学）

2P-7

15：30－15：50 野外採取プラスチック微細片抽出培地による哺乳類培養細胞での小核誘発  
○古熊俊治，藤井伸芳（（株）UBE 科学分析センター安全性評価研究室）

2P-8

15：50－16：10 ノックアウトメダカを用いたトリブチルスズ結合タンパク質の毒性低減機能の証明  
長野陽介，鶴木（加藤）陽子，高村匠，榎慎太郎，松永啓志，島崎洋平，  
○大嶋雄治（九州大学大学院農学研究院），木下政人（京都大学大学院農学研究科），北野健（熊本大学大学院先端科学研究部），邱旭春（江蘇大学環境與安全工程学院）

2P-9

16：10－16：30 アカルチアトンサの排水毒性試験への適用可能性の検討  
○楠井隆史，嶋祐輝（富山県立大学・工学部）

## プログラム

ポスターセッション 9月11-12日多目的講義室中

\*はポスター賞対象者です。

賞	氏名(発表者に○)	所属	題名
P-1	* ○柳原未奈, 中島典之, 飛野智宏	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻	ニホンドロソコエビの重金属類および有機汚染物質への代謝物応答特性
P-2	* ○仲山慶, 磯部友彦, 宇野誠一, 半藤逸樹, 大野暢亮, 国末達也	愛媛大学沿岸環境科学研究センター	化学物質の環境モニタリング情報に関連するオープンデータの活用基盤(ChemTHEATRE)の構築
P-3	- ○藤田克英	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門	セルロースナノファイバーの有害性試験の手法開発
P-4	* ○上野雄, 姜益俊, 邱旭春, 島崎洋平, 大嶋雄治	九州大学大学院 農学研究院 水産生物環境学研究室	有機リン系農薬ダイアジノンがメダカの発音に与える影響
P-5	* ○福田梨乃, 森山章弘, 岩橋均, 守富寛	岐阜大学 自然科学技術研究科	炭素繊維の環境影響について
P-6	* ○長屋知里, 岩橋均	岐阜大学 自然科学技術研究科	CaCO <sub>3</sub> ナノ粒子の見かけ上の毒性原因
P-7	* ○横溝裕行 <sup>1</sup> , 内藤航 <sup>2</sup> , 田中嘉成 <sup>3</sup> , 林岳彦 <sup>1</sup> , 加茂将史 <sup>2</sup>	1)国環研 2)産総研 3)上智大	情報不足条件下において効果的な亜鉛の排水対策場所を選定する:情報ギャップ理論の適用
P-8	* ○荘博規 <sup>1</sup> , 岡田二郎 <sup>1</sup> , 藤崎顕彰 <sup>2</sup> , 内田誠一 <sup>2</sup>	1)長崎大院・水環 2)九大院・シス情	抗うつ剤(スルピリド)がチゴガニのウェーピングおよび接近行動に及ぼす影響
P-9	* ○竹本凌 <sup>1</sup> , 岡田二郎 <sup>1</sup> , 藤崎顕彰 <sup>2</sup> , 内田誠一 <sup>2</sup>	1)長崎大院・水環 2)九大院・シス情	チゴガニのウェーピングおよび接近行動に対するネオニコチノイド2種の影響
P-10	- ○岡健太, 小神野豊, 山岸隆博, 山本裕史	研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター リスク評価科学 事業連携オフィス	国立環境研究所水環境実験施設における実験水生生物の分譲業務の概要
P-11	* ○福島聡 <sup>1</sup> , 広田菜々 <sup>2</sup> , 平野将司 <sup>3</sup> , 石橋弘志 <sup>4</sup> , 有菌幸司 <sup>1</sup>	1)熊本県立大学環境共生学部食健康科学科 2)熊本県立大学大学院環境共生学研究科 3)熊本高等専門学校生物化学システム工学科 4)愛媛大学農学部生物環境学科	4-ノニルフェノール異性体の <i>in silico</i> 解析
P-12	* ○山田陽希 <sup>1</sup> , 山岸隆博 <sup>2</sup> , 鎌迫典久 <sup>3</sup> , 山本裕史 <sup>1,2</sup>	1)東京大学院 新領域創成科学研究科 2)国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 3)愛媛大学 農学部	単子葉植物イネ( <i>Oryza sativa</i> )における非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の影響
P-13	* ○眞野浩行, 篠原直秀	(国研)産業技術総合研究所	<i>Daphnia</i> 属のミジンコ種に対するニッケルの慢性毒性
P-14	* ○石母田誠, 北原彩, 富山成人, 田食里沙子, 福山朋季, 大山和俊	一般財団法人残留農薬研究所 化学部 残留第2研究室	コリンエステラーゼ阻害剤におけるセスジスリカの一時的な薬剤耐性
P-15	* ○山田龍司, 釜谷保志	静岡大学大学院総合科学技術研究科	クロロベンゾキノン類のオオミジンコに対する毒性
P-16	* ○大石法男 <sup>1</sup> , 松本建 <sup>2</sup> , 雑賀修 <sup>3</sup>	1)株式会社安評センター 2)株式会社日曹分析センター 3)株式会社サイカポータ	生態毒性試験のためのセスジスリカの飼育方法(小規模で簡易的な継代飼育方法の提案)
P-17	- ○中西康介, 横溝裕行, 林岳彦	国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター	水田のアカトンボ類減少に対する育苗箱施用殺虫剤の因果性の評価
P-18	- ○安達竜太, 久樂喬, 松浦武, 溝口直洋, 石井政紀, 小野美香, 安藤浩美, 関雅範	一般財団法人化学物質評価研究機構	作用機序の異なる農薬3剤(クロルフェナピル, シエンピラフェン及びフルピラジフロンの)節足動物に対する急性毒性影響の比較
P-19	* ○畠山由紀, 末包高史, 小笠原弘	株式会社住化分析センター	難水溶性物質の対水溶解度評価方法の検討
P-20	* ○鈴木大輔, 庄司良	国立東京工業高等専門学校 物質工学科 庄司研究室	腐植物質の共存が与えるクロロフェノール類の生態毒性への影響
P-21	* ○岡本暁, 今村美雪, 松本建	株式会社日曹分析センター	LEDおよび蛍光灯の照明の違いによる藻類( <i>Pseudokirchneriellasubcapitata</i> )生長阻害試験への影響
P-22	* ○井上昂樹, 岡田二郎	長崎大院・水環	フタホシコオロギの嗅覚学習に対するテオフィリンおよびフルオキセチンの影響
P-23	Stefan Höger, Armin Peither, Jörn Schreitmüller	IES Ltd	Introduction of a New Dosing System for Chronic Fish Tests Conducted with Difficult Substances

